



LIXIL

あやかぜ 可動式日除け 彩風 独立フレーム

取付け説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付け説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付け説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



注意

- 取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<取付けされる方へのお願い>



注意

- 商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ブラケットは、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
 - ・指定のボルト・ねじで固定してください。
- 基礎について
 - ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
 - ・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
 - ・取付け前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
 - ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
 - ・柱（屋根柱は除く）には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ7）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
 - ・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
 - ・コンクリート（又はモルタル）に急結剤は絶対に使用しないでください。
- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の箇所（特に接続部）にコーキング材を充てんしてください。
 - ・外壁の上から部材を取り付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
 - ・本体取付け前に、ブラケットの周囲にコーキング材が充てんしていることを確認してください。
 - ・シリコンコーキング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系コーキング材を使用してください。
- 製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ねじは弊社純正の規定本数を使い、右記締付けトルクを参照し、固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・製品の改造は絶対にしないでください。
- 締付けトルク

φ4ねじ	: 2.5N・m±0.5N・m	(25±5kgf・cm)
φ5ねじ	: 3N・m±0.5N・m	(30±5kgf・cm)
M6ボルト	: 5.2N・m±0.5N・m	(52±5kgf・cm)
M8ボルト	: 12.5N・m±0.5N・m	(125±5kgf・cm)
M10ボルト	: 24.5N・m±0.5N・m	(245±5kgf・cm)

コーキング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

<取付け上のおお願い>

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 取付け時は必ず足場を設けてください。
- 施工の安全上、足場を組むなどの措置を行ってください
- 柱の位置が正確で垂直でない、オーニングの動きが悪くなります。また梁が水平に取付くように柱の施工をしてください。

梱包明細

(1) 独立フレームセット

名 称	略 図	員 数			名 称	略 図	員 数		
		1.0間用	1.5間用	2.0間用			1.0間用	1.5間用	2.0間用
柱 ※		2	2	2	桁カバー		2	2	2
梁		1	1	1	アンカー棒		2	2	2
柱組付金具裏板		2	2	2	独立タイプ用 ブラケット裏板		4	4	4
柱組付金具		2	2	2	[1-5] M8×25六角ボルト(セムス)	—	8	8	8
[1-1] M10×30六角ボルト	—	8	8	8	[1-6] φ4×10トラスタッピンねじ	—	4	4	4
[1-2] M10平ワッシャー	—	12	12	12	[1-7] φ5×12トラスタッピンねじ	—	6	6	6
[1-3] M10スプリングワッシャー	—	12	12	12	[1-8] φ4×25ナベドリルねじ	—	4	6	8
[1-4] M10六角ナット	—	4	4	4	独立タイプ 取付説明書	—	1	1	1

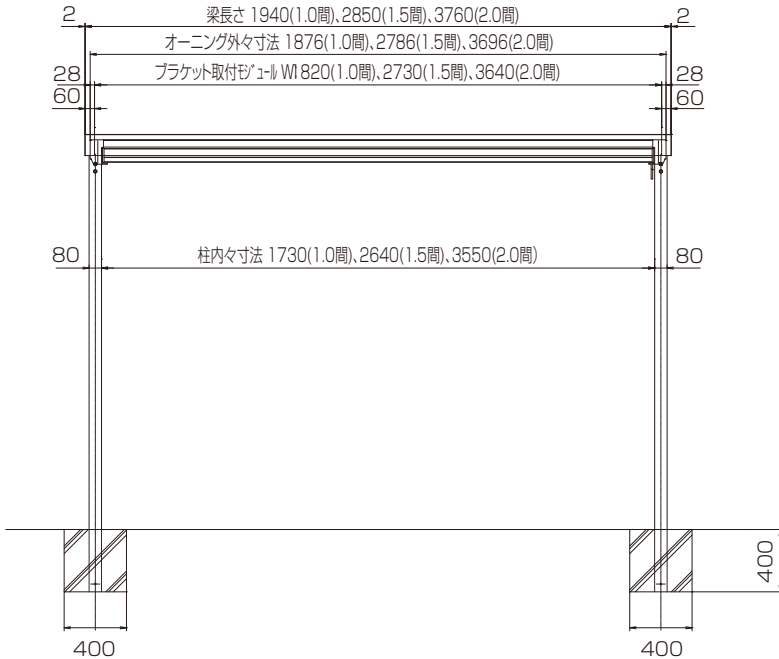
※ H 2800用以上の柱には中に補強材が入ります。

(2) ボルトキャップセット (オプション)

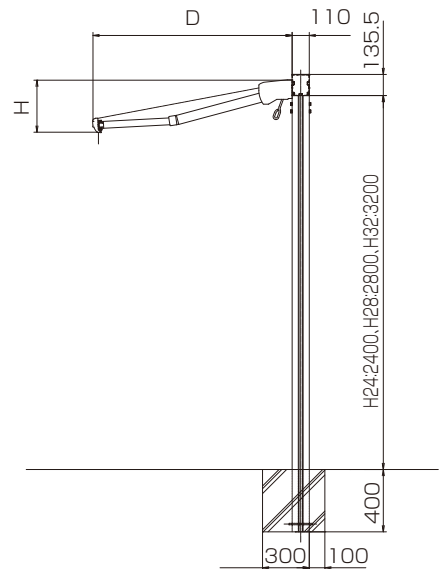
名 称	略 図	員 数
ボルトキャップ		8

姿図

正面図



側面図



※本図はC型手動タイプ(外観右側駆動)を示す。

【C型の場合】

●H-D寸法 (数値は参考値) (単位:mm)

θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1278	335	1538	374	2015	451
20°	1259	432	1515	494	1983	612
25°	1231	527	1480	611	1936	770

【S型の場合】

●H-D寸法 (数値は参考値) (単位:mm)

θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1218	357	1478	396	1955	474
20°	1198	449	1453	510	1922	629
25°	1170	538	1419	622	1875	781
30°	1134	625	1375	730	1815	928
35°	1090	708	1321	834	1743	1069

【CR型の場合】

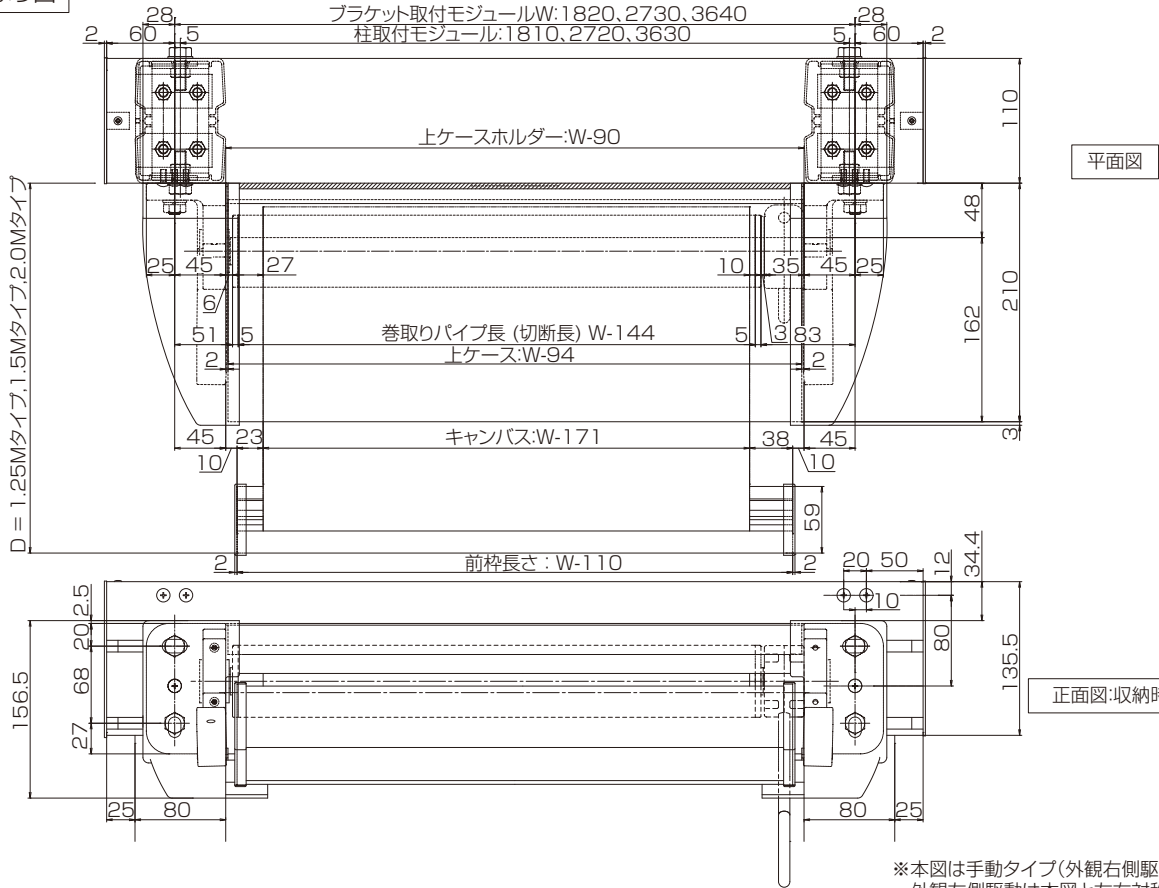
●H-D寸法 (数値は参考値) (単位:mm)

θ角度	1.25m		1.5m		2m	
	D	H	D	H	D	H
15°	1337	336	1597	373	2076	450
20°	1314	431	1570	490	2040	609
25°	1282	525	1531	607	1921	766

納まり図

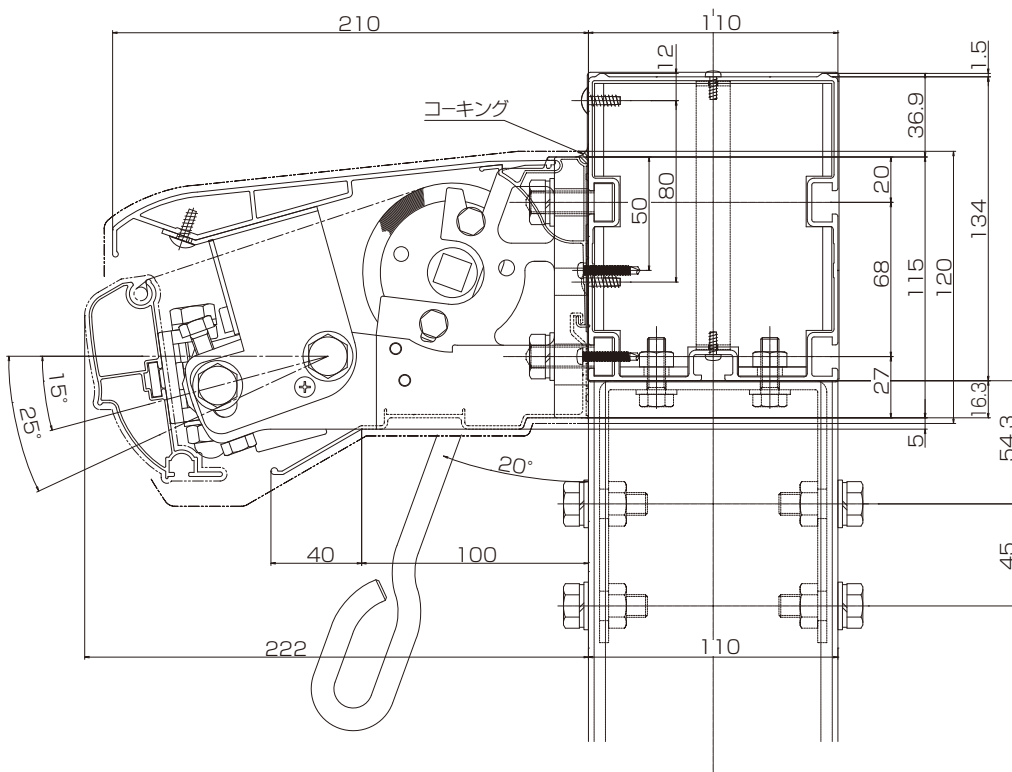
●C型

平面納まり図



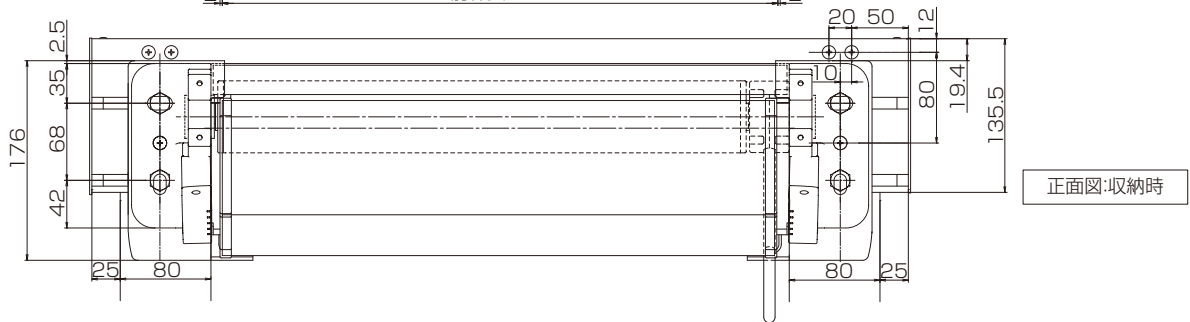
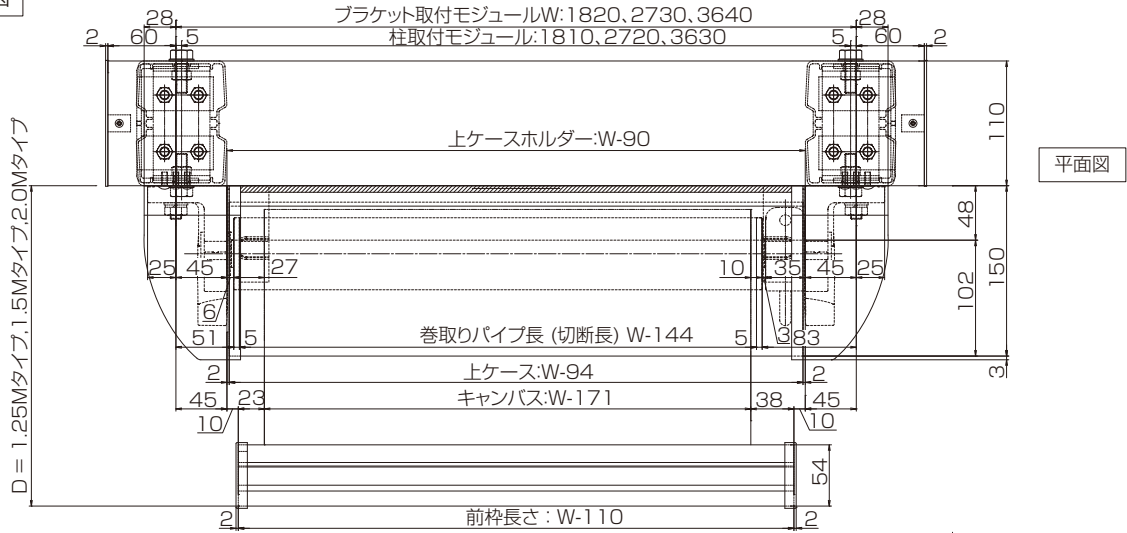
※本図は手動タイプ(外観右側駆動)を示す。
外観左側駆動は本図と左右対称となる。

断面納まり図



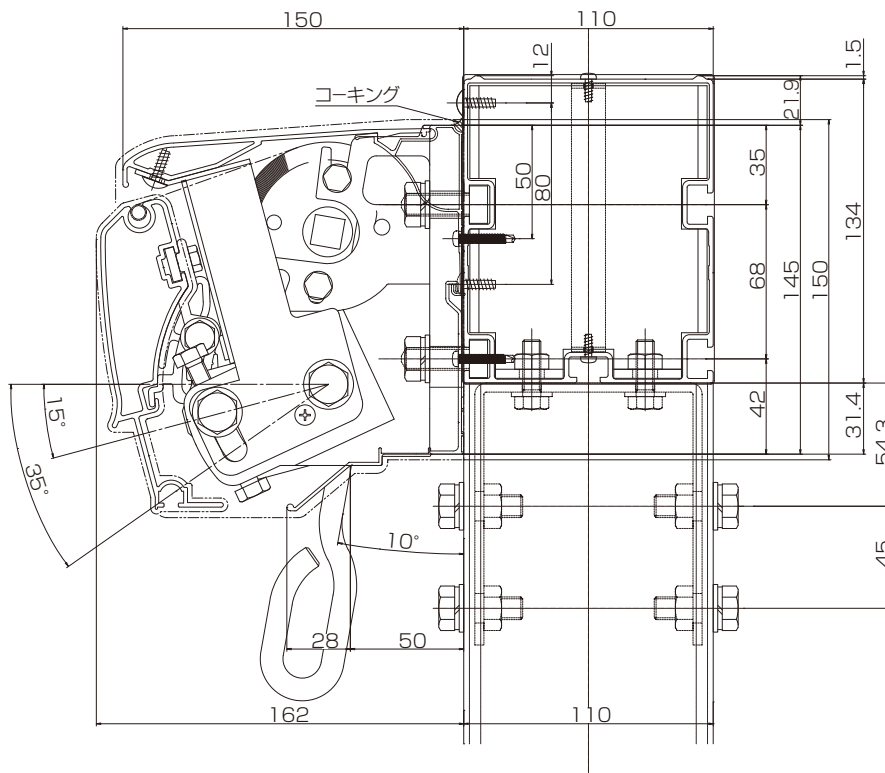
●S型

平面納まり図



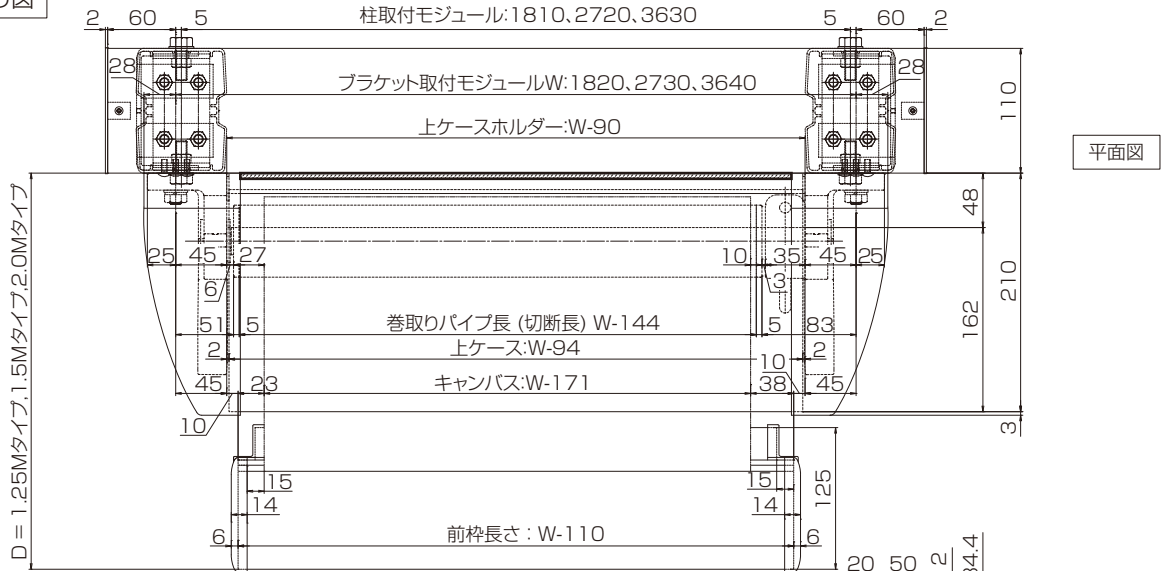
※本図は手動タイプ(外観右側駆動)を示す。
 外観左側駆動は本図と左右対称となる。

断面納まり図



●CR型

平面納まり図

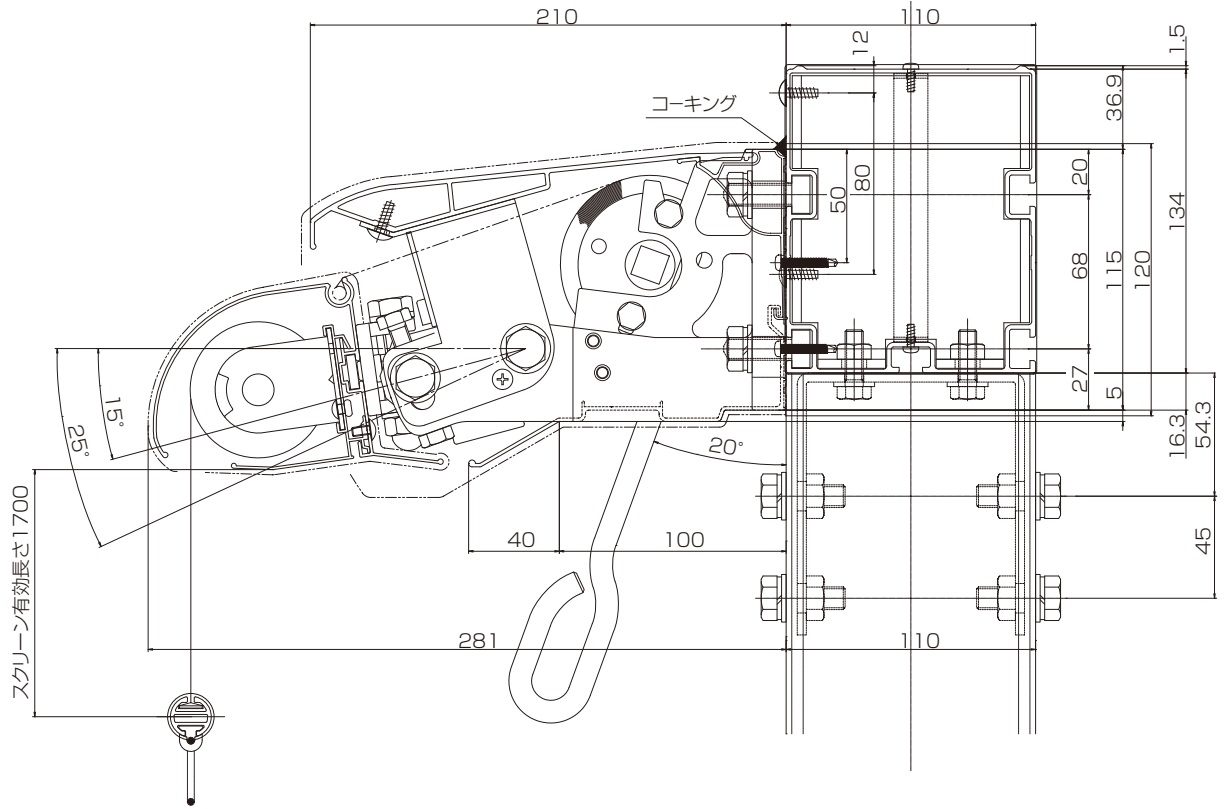


平面図

正面図:収納時

※本図は手動タイプ(外観右側駆動)を示す。
外観左側駆動は本図と左右対称となる。

断面納まり図



取付け手順

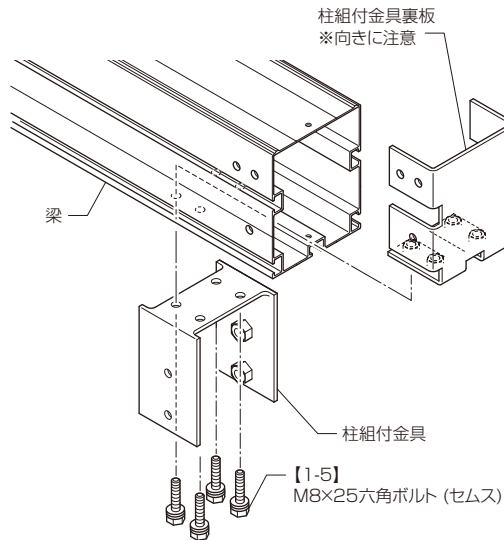
1 梁の組付け ▶

2 柱の埋込み ▶

3 柱と梁の組付け ▶

4 ブラケットの取付け ▶

1 梁の組付け



3 柱と梁の組付け

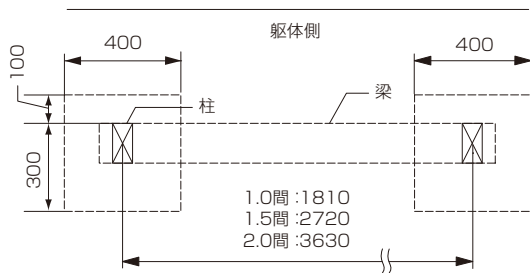
梁を柱に、六角ボルトで固定します。

[1-1] M10×30 六角ボルト

ブラケット(L)

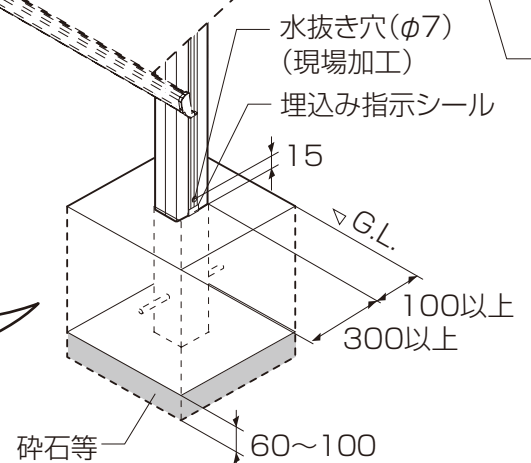
2 柱の埋込み

【柱取付け位置】

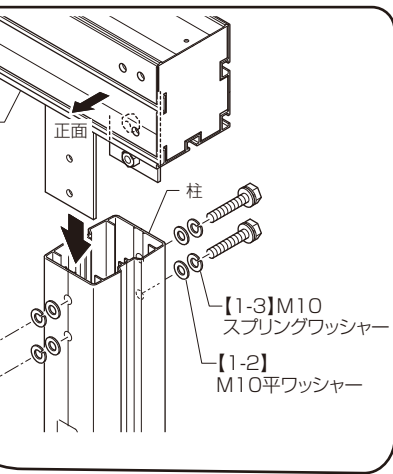


ポイント

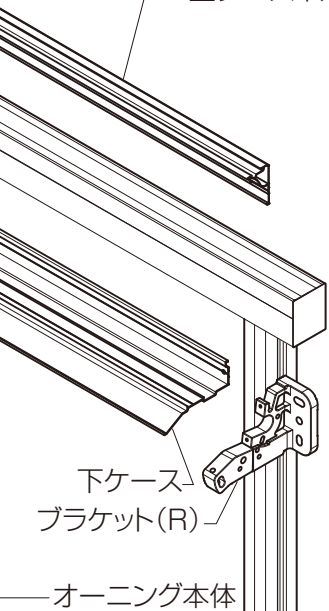
- 埋込み寸法は、400mm以上とってください。
- 柱の垂直、水平を確認してください。
- 柱(基礎)について
 - ・現場で水抜き穴(φ7)をあけてください。
- ※ H2800以上の柱には、内部に補強材が入っています。外側のアルミ材のみ加工し、内部の補強材には穴をあけないでください。
- ・基礎に水がたまりやすい場合は、基礎に水こう配をつけてください。
- ・基礎サイズは、400角以上を使用してください。



5 桁カバーの組付け

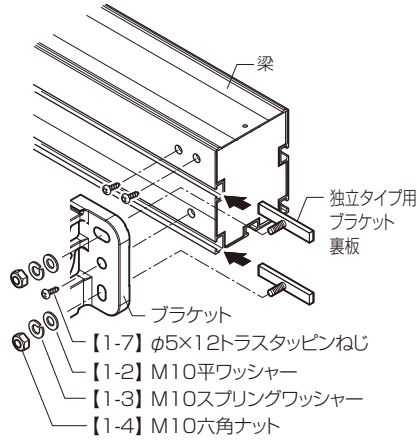


上ケースホルダー



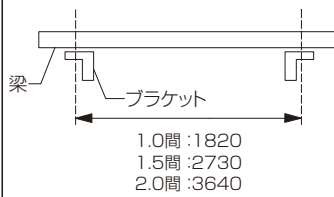
4 ブラケットの取付け

梁に独立タイプ用 ブラケット裏板を入れ、
ブラケットを取付けます。

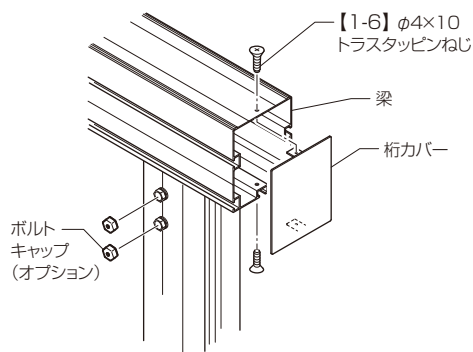


ポイント

■ ブラケット取付け位置



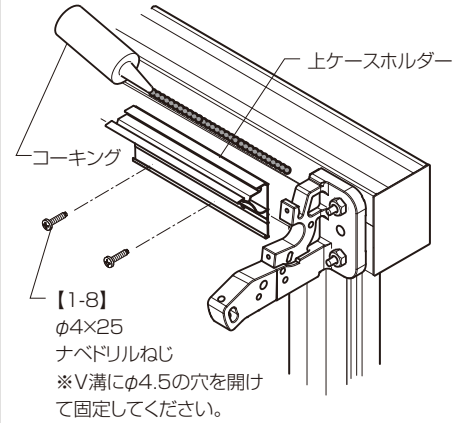
5 桁カバーの組付け



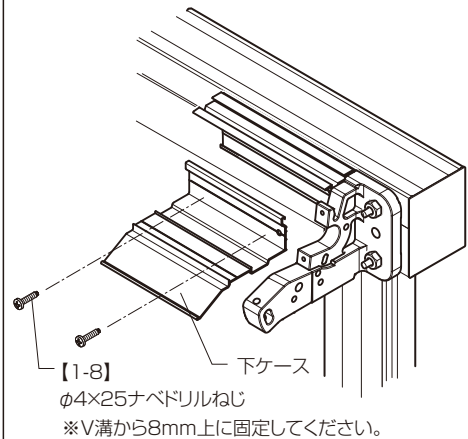
補足

上ケースホルダー、下ケースの取付けは、
下図のように行います。

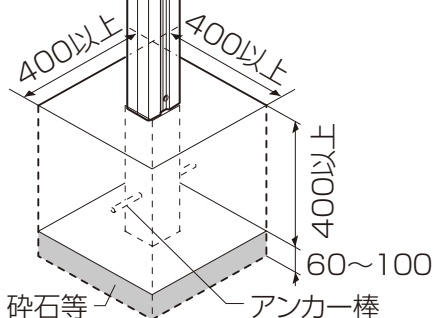
● 上ケースホルダーの取付け



● 下ケースの取付け



※オーニングの取付け手順は、
「彩風 C・CR型」、「彩風 S型」の
各取付け説明書に従い、
作業をおこなってください。



MEMO